

# 「知的財産推進計画2017」

(2017年5月16日知財戦略本部会合決定)

## 概要

【抜粋】

内閣府 知的財産戦略推進事務局

# 「知的財産推進計画2017」の構成

## イノベーション創出

## 地方創生

## 文化創造

産  
業  
財  
産  
権  
コ  
ン  
テ  
ン  
ツ

### I-3 グローバル市場をリードする知財・標準化戦略の一体的推進

- ・総合的な知財マネジメントの推進(知財に加えデータ・標準等)
- ・国立研究開発法人を活用した業種横断的な標準化の推進、人材育成

### II-2 地方・中小企業による知財活用と産学・産産連携の推進

- ・中小企業への知財意識の普及啓発、知財を活用した海外展開支援
- ・産学連携の橋渡し・事業化支援

### I-2 知財システム基盤の整備

- ・証拠収集手続の強化
- ・ADR制度(標準必須特許裁定)の創設

### II-1 「攻め」の農林水産業・食料産業等を支える知財活用・強化

- ・地理的表示(GI)や植物品種の国内外での保護、相談体制の充実
- ・我が国農林水産物の強みをアピールするJAS規格の制定
- ・データ等を活用したスマート農業の推進

### I-1 データ、人工知能の利活用促進による産業競争力強化に向けた知財制度の構築

- ・データ利用の契約ガイドラインの策定
- ・不正競争防止法改正(データの不正取得等の禁止等)
- ・著作権法改正(柔軟性のある権利制限規定の整備)
- ・AI学習済モデルの特許化の具体的な要件や保護範囲の検討

II 知財の潜在力を活用した地方創生とイノベーション推進

### II-3 「国民一人ひとりが知財人材」を目指した知財教育・知財人材育成の推進

- ・新学習指導要領における知財教育の充実
- ・「知財創造教育推進コンソーシアム」によるカリキュラム・教材開発
- ・「地域コンソーシアム」構築

### III-1 コンテンツの海外展開促進と産業基盤の強化

- ・「クールジャパン官民連携プラットフォーム」、地方版クールジャパン会議と拠点構築・相互連携
- ・コンテンツ分野の人材育成・教育機関との連携

### I 第4次産業革命(Society5.0)の基盤となる知財システムの構築

### III-2 映画産業の振興

- ・制作支援強化や資金調達が多様化による中小制作会社等の海外展開促進
- ・ロケ撮影の環境改善に係る官民連絡会議

III 2020年とその先の日本を輝かせるコンテンツ力の強化

### III-3 デジタルアーカイブの構築

- ・国として分野横断統合ポータルを構築し、産学官連携の下、研究・ビジネス・インバウンド等に活用

# 目 次

## I. 第4次産業革命 (Society5.0) の基盤となる知財システムの構築

1. データ・人工知能の利活用促進による産業競争力強化に向けた知財制度の構築 …… 1
2. 知財システム基盤の整備 …… 3
3. グローバル市場をリードする知財・標準化戦略の一体的推進 …… 4

## II. 知財の潜在力を活用した地方創生とイノベーション推進

1. 「攻め」の農林水産業・食料産業等を支える知財活用・強化 …… 5
2. 地方・中小企業による知財活用と産学・産産連携の推進 …… 6
3. 「国民一人ひとりが知財人材」を目指した知財教育・知財人材育成の推進 …… 7

## III. 2020年とその先の日本を輝かせるコンテンツ力の強化

1. コンテンツの海外展開促進と産業基盤の強化 …… 8
2. 映画産業の振興 …… 9
3. デジタルアーカイブの構築 …… 10

### III. 2020年とその先の日本を輝かせるコンテンツ力の強化

## 1. コンテンツの海外展開促進と産業基盤の強化

### 現状と課題

- 成長する世界のコンテンツ市場において日本のコンテンツの存在感を高めるためには、より多様で斬新な作品を海外へ送り出す必要。加えて、異業種や地域発信との連携強化も重要。
- 我が国の創作力を最大化させるべく、中小制作会社や個人クリエイターの支援、産学連携等による人材育成、新技術の応用推進が必要。模倣品・海賊版対策のより一層の強化も課題。

### 取り組むべき施策

#### 【継続的なコンテンツ海外展開促進】

・ローカライズ・プロモーション支援、放送番組枠の確保、市場性が低い国における日本コンテンツの露出、国際的フェスティバルでの発信・ビジネスマッチング、データベース整備による権利処理の円滑化

#### 【海外展開の異分野連携強化】

・「クールジャパン官民連携プラットフォーム」による、異業種間の連携促進  
・地域の魅力発信や異業種プロモーションと一体となった海外展開の支援

#### 【コンテンツ産業基盤強化】

・「クールジャパン人材育成検討会」の検討結果を活用した教育機関と産業界との連携強化による人材育成強化  
・コンテンツ制作現場の環境改善・取引の適正化や資金調達等制度的な課題等についての検討  
・拡張現実(AR)・仮想現実(VR)など先進技術のコンテンツ応用の促進

#### 【模倣品・海賊版対策】

・海外における対策(官民一体となった相手国政府への働きかけ等)、国内における対策(取締強化、啓発活動)、インターネット上における対策(リーチサイト対策、オンライン広告対策に係る支援等)

【クールジャパン官民連携プラットフォーム】  
「マッチングのイメージ」



「クールジャパン・マッチングフォーラム」  
我が国の魅力あるコンテンツとそれ以外の分野が連携し、一体となって商品・サービスなどの海外展開を進めることを後押しするため、異業種連携の先進的なビジネスプロジェクトの表彰や異業種連携によるビジネス組成のための商談会等を実施

#### 第1回「クールジャパン・マッチングアワード」(2017年2月)



「KABUKI LION 獅子王」公演ポスター



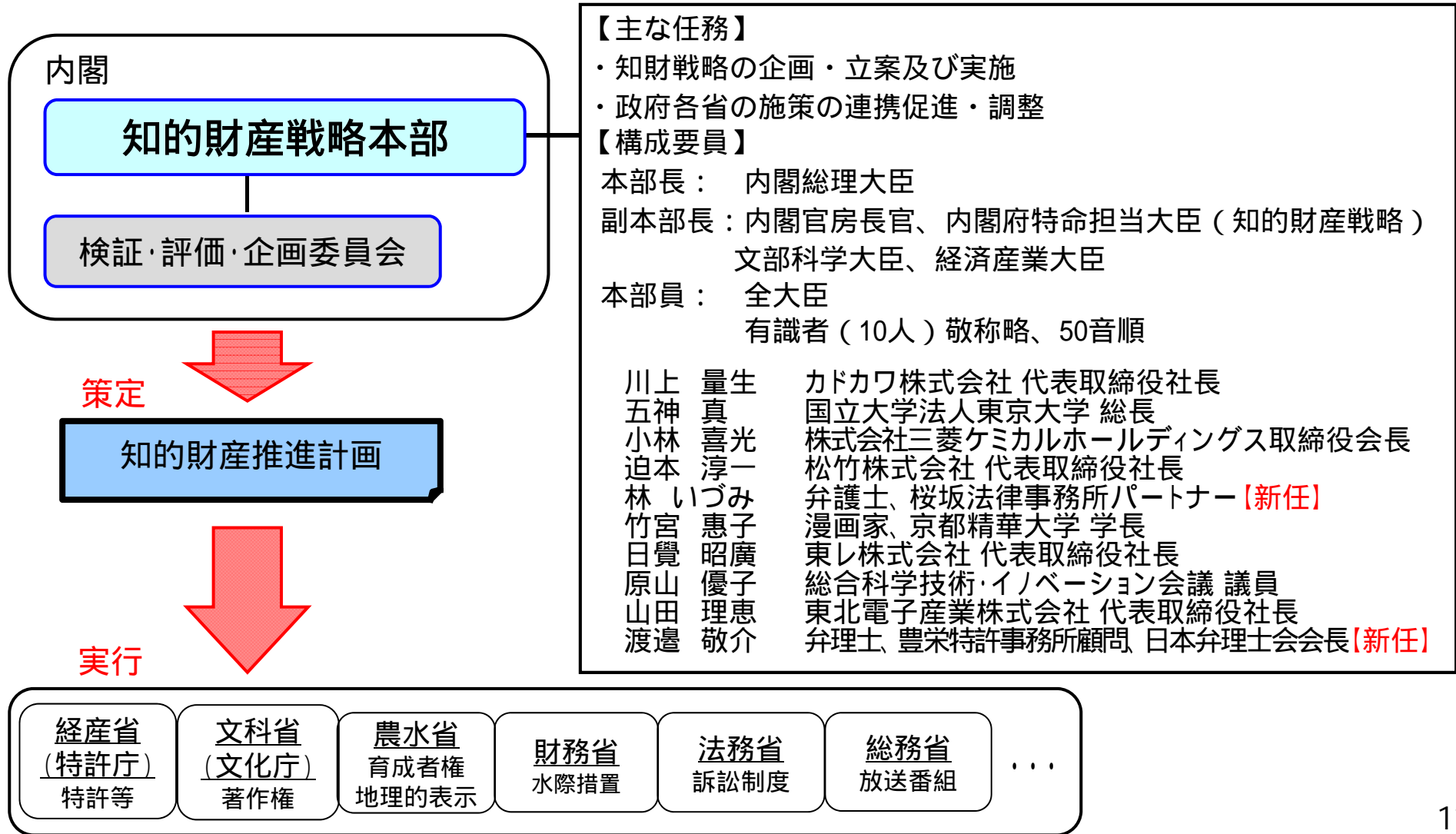
歌舞伎  
×  
テクノロジー

『超歌舞伎・今昔饗宴千本桜』公演 知的財産戦略推進事務局作成

# 知的財産戦略の推進体制

参考1

- ✓ 知的財産戦略本部は、「知的財産基本法」に基づいて2003年に設置。政府全体の知的財産推進計画の作成・推進、知的財産に関する重要施策の企画・推進・総合調整を推進。
- ✓ 毎年「知的財産推進計画」を策定。なお、2013年には、本部設置10年を機に「知的財産政策ビジョン」を策定し、「知的財産政策に関する基本方針」を閣議決定。



**【主な任務】**

- ・ 知財戦略の企画・立案及び実施
- ・ 政府各省の施策の連携促進・調整

**【構成要員】**

本部長： 内閣総理大臣

副本部長： 内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（知的財産戦略）  
文部科学大臣、経済産業大臣

本部員： 全大臣  
有識者（10人）敬称略、50音順

川上 量生	カドカワ株式会社 代表取締役社長
五神 真	国立大学法人東京大学 総長
小林 喜光	株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長
迫本 淳一	松竹株式会社 代表取締役社長
林 いづみ	弁護士、桜坂法律事務所パートナー【新任】
竹宮 恵子	漫画家、京都精華大学 学長
日覺 昭廣	東レ株式会社 代表取締役社長
原山 優子	総合科学技術・イノベーション会議 議員
山田 理恵	東北電子産業株式会社 代表取締役社長
渡邊 敬介	弁理士、豊栄特許事務所顧問、日本弁理士会会長【新任】



# 「知的財産推進計画2017」策定に向けた検討体制

参考2

「推進計画2017」決定  
(2017年5月16日)

知的財産戦略本部

「推進計画2017」素案取りまとめ  
(2017年4月26日)

検証・評価・企画委員会

【新規設置】

**産業財産権分野を  
取り扱う会合**

(座長) 渡部 俊也  
東京大学政策ビジョン研究センター  
教授

オープンイノベーションへの知財  
マネジメント、地方・中小・農水分  
野における知財活用、知財教育  
等について検討  
特許庁で検討中の知財紛争処  
理制度についてフォローアップ

10月下旬から3月まで5回開催

**コンテンツ分野を  
取り扱う会合**

(座長) 中村 伊知哉  
慶応義塾大学大学院  
メディアデザイン研究科 教授

映画産業振興、デジタルアーカ  
イブの推進、模倣品・海賊版対策  
等について検討  
文化庁で検討中のデジタル・ネッ  
トワーク化に対応した著作権シス  
テムについてフォローアップ

10月下旬から4月まで4回開催

**新たな情報財に関する  
検討委員会**

(委員長)  
中村 伊知哉  
慶応義塾大学大学院  
メディアデザイン研究科 教授  
渡部 俊也  
東京大学政策ビジョン研究センター  
教授

著作権・産業財産権・その他の  
知的財産全てを対象とし、人工  
知能・データ等新たな情報財の  
保護・利活用に係る知財制度に  
ついて検討  
10月下旬から3月まで7回開催

【新規設置】

合同会合としても開催

**映画の振興施策に関する検討会議(タスクフォース)**

(座長) 中村 伊知哉 慶応義塾大学大学院  
メディアデザイン研究科 教授

映画製作への支援、海外展開支援、ロケ誘致等について検討  
12月から3月まで4回開催